

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	免疫学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	4校舎501教室
担 当 教 員	駒井 亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生体の免疫応答全般について学び、炎症の機序、感染症、アレルギーについても学ぶ。医薬品の作用機序についても解説を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験 70点 平常点 20点 出席点 10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
反復学習による内容理解の向上に努め、免疫応答について自ら説明できるようにしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
まず免疫応答全般について自ら説明できるようになってください。また免疫応答のどの部分で医薬品が作用しているのかも学習しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己と非自己について正しく理解し説明できる	配布資料		
		各コマにおける授業予定	免疫とは ～自己と非自己～			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然免疫と抗原提示、獲得免疫について簡潔に説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください	
		各コマにおける授業予定	生体防御反応			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞性免疫、体液性免疫・抗体について簡潔に説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください	
		各コマにおける授業予定	獲得免疫について 細胞性免疫、体液性免疫についての解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の生体防御に関わる細胞について顕微鏡で確認し特徴を簡潔に説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください	
		各コマにおける授業予定	実際の生体防御に関わる細胞について顕微鏡で確認する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症の機序について要点を説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください	
		各コマにおける授業予定	炎症について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの機序、薬の作用機序について簡潔に説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください
		各コマにおける授業予定	アレルギーとその医薬品について		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	感染症とその治療薬について簡潔に説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください
		各コマにおける授業予定	感染症、その治療薬について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	OTC検査薬について説明できる	配布資料	前回までの復習をしておいてください
		各コマにおける授業予定	OTC検査薬について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			